

第9回行政評価委員会会議録

日時：平成31年2月13日（水）18時25分～19時40分

場所：伊予市庁舎4階大会議室

出席者：妹尾克敏委員長、倉澤生雄委員、管谷ゆかり委員、佐藤宏美委員、西田和眞委員、木本敦委員

事務局：空岡・小笠原・岡井

傍聴者：なし

1 開 会

会議の成立を確認した。また事前配布資料（1～6）の確認を行った。

2 議 事

（1）審議事項

① 【報告】平成29年度事務事業・施策評価最終結果について

（事務局）

資料の1から4をもとに報告を行う。

12月伊予市議会定例会が昨年11月27日に開会し、11月28日の議会において結果報告を行なった。資料1が平成29年度全事務事業の報告となっている。1枚めくると、昨年に引き続き「平成29年度の事務事業における行政評価結果報告書の見方」というページを設け、自己判定や一次判定、二次判定に関する説明、また妥当性・有効性・効率性による評価のランク付けなどに関する説明を加えている。

次のページから、見開き2ページのセットとなっている。左のページには、担当課別に事務事業を配置し、それぞれ自己判定、一次判定、二次判定、外部評価を経て最終判断までの内容を記載している。右のページには最終判断までの内容を記載している。昨年から変更した点として、左側のページに各事務事業の決算額及び人工数を追加している。これにより大まかではあるが、事業規模が判断できるようになったのではないかと考えている。委員に審議いただいた事務事業については、左側のページにある「外部評価」の項目欄に「別冊○頁のとおり」とあり、これは資料2としている別冊と合わせて報告をした。

この資料2、平成30年度外部評価結果の内容については、昨年の本委員会において確認いただいたとおりである。確認いただいた後に、最終判断の結果及びその判断に至ったコメントを追加して、担当課別に事業を並び替えている。

続いて資料3、平成29年度施策評価結果について。この資料は今回から新た

に報告している。第2次伊予市総合計画で定めた基本方針に基づく24施策それぞれにおいて成果指標を掲げており、年度ごとの進捗及び結果分析を行ない、次年度に引き継ぐ形で報告している。各施策の右側に構成事務事業を配置しており、重要事業の有無、担当課、29年度の事務事業結果（予算額、決算額、外部評価の有無、最終判断）を掲載している。表にある「No.」は先ほど報告した資料1、29年度事務事業評価結果の番号とつながるようにしている。個々の事務事業評価シートはホームページに掲載済みであり、資料3と同様に施策別に分けて表示しているので、確認する際、評価結果と個々の事業と比較しやすくなったのではないかと考えている。

この3点の内容に沿って議会に報告したところ、資料4にあるとおり、3人の議員から質問、提案があった。議員から所管部長出席の評価に触れられ、また外部評価事業に関する質問も出ていた。施策評価結果も同時に報告しているため、そちらに関する質問も出ていた。一点だけ、議員から「時間が許すのであれば、前任者と後任者の2人が行政評価委員会に出席し、前任者が昨年評価に対する説明、後任者が今年度の方針を説明してはどうか」という提案があった。議会では当室室長から、異動による引継ぎに関し、決算審査を例に挙げ、昨年度の内容であっても当該年度の職員が責任を持って答弁しているとの回答をした上で、議員の意見を踏まえ、委員会において検討すると発言している。このことから、後ほどこの件に関してご意見をいただきたいと思う。

3人の議員から質疑があった後、行政評価結果は報告事項であることから、質疑終了後受理されている。以上が平成29年度事務事業、施策評価の最終結果の報告である。

（委員長）

事務局から平成29年度の事務事業、施策評価の最終結果の報告があった。何か質問はないだろうか。

最後のくだり、前任者と後任者が同席しろ、すべきではないかということについても意見を頂戴したいと思う。いかがだろうか。その方が丁寧は丁寧なのだろうが、キリがないのではないかなと思う。何のために管理職が引継書を取り交わしているのか。私は一瞬そう思った。

（委員）

普通は、きちっと引き継ぐから、後任の方がそれをもって事業を展開できるということだろう。

（委員長）

おっしゃるとおりである。

(委員)

後任に引き継ぎができてないといけないと思う。許されるならその形ですればよりはっきりすると思うのだが、そこまでしていただけるのかどうか。

(委員)

多分傍聴をされて、そういう感想をお持ちになったという率直な意見だと思う。確かに質問に対する受け答えというか、返事が適切でない回答があって、不勉強と言うと大変失礼になるのかもしれないが、引継ぎというか、質問に対する報告内容について、新任の方にもう少しご準備いただければよいという感想ではないのかなと私は理解した。そういう意味では、確かにそういう面が若干あったかなという気がする。

(委員長)

ありがとうございます。そのほか何か意見はあるだろうか。

(委員)

私も付け加えることはないのだが、やはりうまく説明できていなかった人がいることに対する議員の意見だと思う。ただ2人の方が来れば違いは分かるのだが、どれだけ時間がかかるのだろうかという気がする。

(委員)

私も先ほどの意見と一緒にある。どの課か記憶が定かではないが、評価の中で伺った質問の返答として「今年度代わったところだから分かりかねます。」という意見があり、あれっとな首をかしげる場面もあった。きちんと引継ぎをしていれば、別にお二人が来ることもないのではないかと個人的には思う。

(委員長)

ありがとうございました。何のためにその引継ぎが行われているのか。全部が全部そうではなくて、パーソナルな問題、個人差があるのだと思う。それにしても異動した後に前任者が出てくるとなると、異動のたびに仕事が人に付いて回るようになってしまうので、それはいかななものかと思う。委員の皆さんから意見を頂戴したのだが、引継ぎ書として書類も必要なのだろう。

(事務局)

ご指摘のとおりである。

(委員長)

それで引き継いでいなかったように言われても…と思う。引き継げる場合は良いけれど、一方が退職しているとどうするのか。そういう提案があったのは受け止めたいと思うのだが、ここは引き継いだ方がしっかり勉強していただき現場に臨んでいただく、委員会のシステムは現状のとおりでいいと私は思う。

どうだろうか。キリがないと思う。

(事務局)

貴重な意見ありがとうございます。今頂いた意見は会議録作成後、理事者も含め報告する。今回議員には外部評価の間、案内をしていた。そこで出席された方の意見であり、要望でもあるので、評価結果は報告事項ではあるものの、今回提案として受けた経緯がある。

外部評価の総括（はじめに）で意見を頂戴したとおり今年から部長級まで出席するというので、これまでにない評価であったと思う。来年度以降継続したい。

ご指摘いただいたような異動によって回答ができないのは理由にならない。これは職員側の問題であり、職員の資質と責任感が著しく欠如している結果だと思う。4月に人事異動があつて、9月10月に引き継げてないというのはあり得ない話である。例えば手持ちに資料がないのであれば、そういう言い方は幾らでもある。それを人事異動のせいにするという姿勢が根本的に間違っていると思う。議会と同様、真剣勝負の場でもある。事前に資料を出した中であるので、質問に答えられる準備、明確な回答なり考えなりできるような職員の体制というか、事業のことを詳しく知らない方にも分かってもらえる説明をする気持ちで臨まないといけな。議員からそういう意見が出たことは、やはり深く受け止めて、来年の行政評価委員会へはそういう気構えで出席するよう、大きく改善していきたいと思う。

(委員長)

個人的に今の意見に大賛成である。4月の異動が直近の異動であつたにも関わらず、何カ月も経って認識がないというのは犯罪に等しいと思う。余計なことを言ったが、そのように進めていただきたいと思う。

② 平成31年度外部評価（30年度事務事業）事業選定について

(事務局)

資料の5、6をもとに説明を行う。

まず資料5、平成30年度施策評価から。こちらが今年度の施策の方向性を示したものである。ページをめくると目次があり、さらに次のページから見開きで施策ごとの評価となる。昨年度からの変更として、平成30年度の指標の数値目標、また成果指標の分析欄に方針を追加している。これは昨年度の結果を踏まえ、今年度の所管課による数値目標に対し、部長等により、どの成果指標を今年度は重点化すべきか、あるいは見直すかという指示が出ている。この指示

に基づき、右側のページにある「構成する事務事業」において、どの事務事業を重要と判断するか、所管課で選択をした上で、各事務事業の進捗をしている。年度末には実績値や成果指標の達成状況、結果の分析が所管課から上がり、所管部長には事業構成の適当性や総合診断、改善提案を行っていただき、次年度に向けた方針を定めることにしている。

この重要という判断する事業について、所管課で重要と判断した事業には当然○が付いているのだが、ある施策に所管課の事業が1つしかない場合には、重要か否かに関わらず重要事業として加えている。つまり各課で必ず1事業以上は重要事業を入れるということにしている。これは施策評価の取組に対し、各課の温度差をなくすために実施している。

また基本情報のところに、新たに市民満足度調査結果を表示している。これは2年に1回実施される調査であり、今年度各施策に対する重要度と満足度を市民に判断してもらっている。重要度については右へ行くほど重要度が増す、満足度については上へ行くほど満足度が増すということになっている。24施策あるので、半分の12施策の間に基準線を引いている。1ページを例に言えば、重要度、満足度ともに上位のグループに属している。

これまで説明した項目のうち、重要と判断した事業、そして各施策の重要度及び満足度の順位をまとめたものが資料6、検討資料にある表となっている。この資料の表紙については、事前に委員の皆さまに資料を見てもらうに当たっての補足説明であり、先ほど来の説明と重複するところもある。この下段に事務事業選定に関する事務局案を記載している。

検討資料に掲げた事業を見てお気付きになろうと思うが、昨年そして今年評価いただいた事業が複数含まれている。市の施策を進めるに当たり、各課で重要事業が毎年変わるということではなく、大筋は同じ事業内容になるのが実情である。次年度の行政評価委員会の体制は新たになるものの、各施策から1事業ずつ選ぶとなると、同じ事業ばかり審議することになる。そこで提案として、重要事業のうち、新たに加わった事業、それから確認したい事業を選択してはどうか。それから先ほど説明した満足度調査結果に基づく内容において、重要度が上位12施策に入っているのに、満足度調査で下位になっている。そこはテコ入れという意味も含め、その施策からの事業をピックアップしてはどうかという提案である。重要度が高いものの満足度が低いというのが、基本構想2健康福祉都市の創造の③健やかで生きがいの持てる高齢者福祉の実践、④心の通った社会福祉の推進、そして基本構想5参画協働推進都市の創造の③効率的で透明性の高い行財政運営の3施策が該当となっている。

事務事業の表題だけであり、具体的な内容が判断しづらい面もあると察するものの、これらの中で各委員が気になる点や事業について意見を頂きながら、次年度における行政評価委員会での外部評価対象事業の案とさせていただきたいと考えている。以上が提案である。

(委員長)

ただ今事務局から事業選定について説明を頂いた。今までの委員会のスタンスと同様、それぞれ委員から意見を頂戴したいと思うがよろしいだろうか。

(委員)

事務局案を出していただいているので、私はこれに沿って選定していけばいいと考えた。何年か委員をやっていると、この事業は重要と判定されているけど、前にも評価したという事業が幾つも出てくる。ただ昨年、今年と評価したふると納税事業は見直した部分もあったので、同じ事業でももう一度見ていくのは良いことだと思う。ただ事業を見ていても、この事業はどのような内容なのだろうと、内容によっては対象事業としてほしいものもある。例えば車両基地・貨物駅周辺整備対策事業、1億円を越える予算があり、予算規模は大きいのだが、JRが新駅を造るのは松前町の土地である。伊予市の整備事業と言えば一体どういうものがあるのだろうかという気がする。それから県営ため池等整備事業がある。これは県が管理しているため池だけの事業なのだろうか。我々の身近にある水が漏れている池も含めた整備事業であれば、評価したらいいという気がする。今近くの池は水が漏れている。県の指導で年に2回草を刈りなさいと。それで刈って水漏れがずっとあるので、今は地区で補修をしているのだが、そのまま放置して水漏れ箇所が大きくなれば豪雨が来たときに、一気に崩れる可能性もある。すぐ下に民家があってどうなるのか分からないということもある。市民にとってみると非常に関心があると思う。

あと、個人的にがけ崩れ防災対策事業3,000万円、急傾斜地崩壊対策事業1,480万という事業は是非とも見てみたいと思う。

先日愛媛県中予地方局から案内があり、よく見ると豪雨が来た際、北山崎小学校まで土砂崩れが来る可能性があり、地元説明会を開くということであった。私が気になったのは、近くの高速道路の下にある山田池の上のところ、4、5年前に山の部分が土砂崩れになってしまったので、そこかなと思っていたら、伊予インターのすぐ横の奥にある池のことであった。昨年の豪雨の際にも、その池の法面が地滑りして、大きな木が池に流されて落ちてきていた。池の奥は放置竹林を整備しているところである。そこが崩れると一気に北山崎小学校まで流れ出るという想定であった。これは住民にとっても重要なことなの

で、取り上げてほしい気がした。

(事務局)

まず、車両基地貨物駅周辺整備対策事業である。この事業はＪＲ車両基地、貨物駅の整備による周辺環境変化を行うことによる道路の整備や駐輪場の整備（平成29年度は用地取得）、橋梁の架け替えなど、駅も新しくできるので、その駅までのアクセスに不便がないよう、整備を行うという概要である。

(委員)

あの付近の天井川も整備していた。なるほど、内容は理解した。

(事務局)

県営ため池等整備事業については、県営事業ということで、市は県関係者と連携して地元関係者に説明したり、こういう形でやりますよと理解を求めたりする内容である。

(委員)

その程度だろうか。

(事務局)

事業自体何をするかということ、県営ため池事業に伴います負担金、それから土地改良事業の連合会や伊予市・伊予郡土地改良協議会への負担金を支出するのが主な内容となっている。漏水対策など市が独自でやっているということではないようである。

(委員)

なるほど、だいたい想定していたとおりである。負担金であったりいろいろな協議会をしたり、関係者に連絡したりということだろうと思っていた。池の管理が本当にきちっとできているかどうかということに関心があるので、その内容なら評価してもあまり意味がないと思う。

(事務局)

がけ崩れ防災対策事業と急傾斜地崩壊対策事業は県の補助金交付要綱に基づいて支出されるものである。市が主体となり、それぞれため池の個人版のような事業である。独自の事業ではないということである。

(委員)

私からは、今年評価した内容を見ていて、過去の内容まではきちんと読み込んでいないのだが、ここ数年評価にかけた際、結構辛らつな意見が出ている事業で、見直しのまま継続という事業が結構あるような気がする。３年とか４年前に見直しの上継続という事業が、その後どのように見直されているのか、そういう観点からもう一度見ても良いのかなと思った。この事業をやきましょう

という案はないのだが、一つの参考としてもらいたい。

(委員)

私は個人的に防災士の資格を取っている。よく新聞記事やニュースでも、いろんな自主防災の対策というか育成というか、そういう記事が出ている。私も研修や講習にはできるだけ行こうと努めている。その観点から、防災事業にはいろいろな項目があり、重要事業に○が付いており、ある程度絞られていると思い、ありがたいなと思って見ていた。それから身近な子育て。女性の立場、母親の立場、主婦の立場として、子育てサポートというか子どもを支援する事業に今以上に力を入れてもらえるとありがたいと思う。いじめや虐待、親子の悲惨な事件が起こっており、政府も早急に対策を立てよという案件でもあるので、伊予市もその方向で一層の努力及び活動が目に見える形で進めばありがたいと思う。

(委員)

私は基本的に提案のあった事務局案に賛成である。その中で重要度が低く、満足度も低いという施策でありながら、結果として重要事業に○が付いているので、評価対象に上がってくるのだらうと思う事業があつて、産業新興都市の創造の②持続的な林業・水産業の振興は、市民の満足度調査では重要度がすごく低く、満足度も低い状態になっている。過去に評価した事業で、予算は国から付いているので事業を進めるというものがあつた。この辺で何か、重要度が低くてもやらないといけない施策であるなら、その重要度を市民にアピールする必要があるのかどうかという関連で、何らかの話をお聞きできればいいと思う。下灘の林業センター利用については、議員の質問もあつた。そういう発言をすると、それに対する周りの関係者が入ってくるのかなとも思う。だけど、重要度が低いところの予算がまだ付いているということ自体考えなきゃいけないところではないかと思う。そこは何点か入れていただければと思う。

(委員)

私も基本的には、この検討資料に上げていただいている事務局の基本案に賛成である。特に今回の新しい施策評価シートでは、市民満足度調査の結果表と一緒に載せてあるので、見ていて市民は重要と思っているけれど、満足度が十分でない事業というのは、市民がもう少し力を入れてほしいとか、どの事業に市民が関心を持っているとか、そういう指標が一緒になって載せているので、事務局が提案している事業も、この施策で重要として考えられているのだなという、その根拠もとてもよく分かるので、特に異議もなく、この報告でお願いしたいと思った。

あと、個人的に関心があったのが、先ほど提案のあった車両基地・貨物駅周辺整備事業である。先日発表となったＪＲの新駅、貨物基地が移転してくるのに合わせて駅ができるという計画は、地元住民に早くから伝えられていたものの、それ以降は何の進展もなく、計画も十分なくて、先日駅の名前などＪＲから正式な発表があつて、いよいよだなと思った。これからも市の事業としてきちんと進めていくのを見守っていきたいということで、駅が今後完成するまでの期間限定の事業だと思うのだが、やはり駅が１つできると、周りの安全や駐輪場とか、交通の流れや人の流れも変わってくると思う。そういう点で、駅だけではなく、防犯上の問題とかさまざまなことが変わってくると思うので、駅が完成するまでこの事業は注目していただきたいと思う。

(委員長)

ありがとうございました。いろいろ意見を頂戴したのだが、私も基本的にはあらかじめ事務局で選定したものを一つのめどとして考えていた。これをベースに、これ以外に○が付いていないもので、気になるところがあり、それを加えてどうかという合意が形成されれば、一応候補の事業としてカウントすればどうかと思う。

私は金額の多寡よりも、いわゆるハードとソフトという観点に分けたとき、ハード事業は施設の建設とか整備なので伝わりやすいのだが、ソフトの場合はそうでもないだろう。運営事業とか何とかなると、一体これだけ何にお金を使っているのかという部分がある。そういう物差しも必要かなとは思ったのだが、さりとてこれがそのソフト事業に当たるという特定は現時点ではしていない。委員がおっしゃったような、ふるさと納税事業であれば、その事業のどの側面を捉えて実施していくのかということだろう。今後どういう物差しを当てて、どう設定していくのかに関わってくるのだろうと思う。

ここでまとめてもしょうがないのだが、以上の意見を委員から頂戴した。事務局から追加で何かあるだろうか。

(事務局)

貴重な意見ありがとうございます。ただ今委員の皆さまから頂いた個々の事業であったり、こういう分野から選んだりしてはどうかという意見があった。これは次期の体制への申し送りという形になろうと思う。今頂いた意見をもとに、こういう事業を選定したという形で進めたいと思う。次期の委員に提示し、こういう事業が選定されているけれど、なおそれらに加えて評価したい事業があれば随時加えていく形としたい。

それから予算がどんどん厳しくなっている中、止めたくても止められない事

業をおそらく各課で持っているのではないか。そういう事業に対し、いる、いないという結論を求めるのではなく、一つの意見、外部の意見として聞きたいという事業が複数上がってしまった場合、事前に多くの選択をしていてそこまで手が回らないとなると本末転倒になってもいけないので、そこの兼ね合いを想定しつつ、ある程度の事業選定という形で提案させていただければと思う。皆さんから頂いた意見を踏まえ、文書確認という形になろうかと思うのだが、後ほど会議録と合わせ、こういう形で進めたいという資料を作成するので、そちらについてももし意見があれば報告いただき、次年度に提案をさせていただければと思う。

(委員)

よろしいか。私はこの事業名称と事業内容、それと予算を自分で勝手にイメージしている。例えば今あった車両基地・貨物駅周辺整備対策事業であれば、高松市の鬼無に貨物のヤードがある。ＪＲの貨物は夜中にしか走らせない。そうすると、夜中にＪＲの貨物が来て、大きなトレーラーにコンテナを移して、整備された道をどっどっどと走る。夜中なので小学校の通学に関しては大丈夫だと思うのだが、そういう見えないことが出てくると思う。私は整備事業と言えばそういうことをイメージするのだが、ここで計画されているのは補助金が出て、それを事業展開するだけとなると、文字で見て勝手にイメージしたものと全然違ってくる。

先ほど自主防災の話があった。本当に災害があったときに絶対重要なのだが、自主防災事業の訓練と言えば30万円しか予算がない。皆さんも自主防災と言えば非常にイメージは膨らむと思うし、重要度もあるのだが、なかなかここに出てくる事業とマッチングができないということもある。市民のアンケートも取っているのだが、いずれも重要な事業である。市民の方は、自分に関係する身近なものにしか反応していないから、ミスマッチとは言わないがギャップが出ているのではないかと思う。本当は重要だと誰もが思うけれど、私にとってはこれだということで、重要度のランクが付いているということがあり、事業名称とそれに裏付けされている予算が出てくると、何だかうまくイメージができない。お互いちょっとしたズレが出てくるのではないかという気がする。

(委員長)

ほかにはないだろうか。

(2) その他

(委員)

よろしいか。巷で高いピアノを買ってどうするのかと、ちょこちょこ小耳に挟んでいて、その時は知らなかったのだが、先日議会報告のようなペーパーをたまたま目にした際、新しい文化ホールで使うピアノがスタインウェイ&サンズで決定だと。反対議員は3人で、後はオーケーだったと。あのホールにどうしてそんな高いものがあるのだろう。お金がたくさんあればいいのだが、今は財政難である。個人的に文化や芸術、情操教育の一環でとても大事だとは思っているのだが、あまりにも高額なピアノとなると、首をかしげてしまう。ヤマハのグランドピアノなら1,000万もしない額でもものすごく良いものがある。それがどうして弾くのが難しいスタインウェイ&サンズなのか。今造っているホールもとても良いと思うのだが、大きなコンサートができるホールではなく、中規模である。そんな大きなスタインウェイを置いて、どういうピアニストが来てどういう公演をやるのかと思うと、中途半端な感じがしたのが率直な意見である。

それから昨年私も指摘したことであるのだが、郵便局の前の通りは通学路である。道の拡張をしないと危なくないかと聞くと、建築物があって所有者の了解が取れないので、難しいという回答でその時は終わったのだが、何とかならないものだろうか。市がどのようなアプローチをして、どんなトラブルがあったのか、所有者のわがままかもしれないが、行政の力で一步二歩進む形に持っていってくればありがたいと思う。率直にお伺いしたいと思って質問させていただいた。

(事務局)

全てが答えになるかどうかは分からない。まずスタインウェイについては、教育委員会がこのホールに置くのにふさわしいという部分で多角的に検討したと議会でも説明があった。詳細については、議員全員協議会といって非公開で議員を対象にして所管と議論をしており、2回から3回行ったと聞いている。結論的に言うと、周辺のホールの稼働率を見て、スタインウェイでないといけないという結論に至ったのは、フルコンというのか、そのサイズでいうスタインウェイの中でも一番良いものと伺っている。委員がおっしゃったように、教育の観点からもそういう部分を是非置きたいというのが所管の説明であったし、財政が厳しい中、このスタインウェイを置いて良かったと言われるような今後の取組とか、それを生かすようなホールの運営、稼働率を上げていくことでその価値を見出していきたいというのが市の考えであった。採決の際にも異議や反対討論が出たのも事実である。これから半世紀というのが一つの目標で

あるようだが、割り算をすればそう大きな投資にはならない。そういう長い目で見て成果を上げていきたいというのが市の考えということで議会の了解を得ている。今後最終的な額も決まってくるのだが、維持も含め、今後出来上がるホールにあって良かったと思うものに持っていきたいと考えている。

2点目の交差点改良については、交差点は非常に危ない5差路となっているし、大きな施設が近くにできる、保育所も近くにあると。市も中心に進めていけばいいのだが、事業自体は県営事業である。国道378号の交差点改良になるので、実質事業を握っているのは県の地方局になる。実際は伊予農業高等学校の先くらいまで歩道をずっと延ばすという話であったが、今は伊予農前辺りで歩道が終わっている。交差点のところもそこまで渋滞も起こっていない、事故も起こっていないということで、今の状態で…となっているのが伊予市にとっても非常に辛いところである。国道378号で言えば、その交差点付近とちょっと先、三秋から双海につながるごみ処理センターのあるところ、あの湾曲しているところも工事が止まっている。本当は手前のところをまっすぐに降りていく予定だったのが、お墓の移転がままならないようである。その2か所が整備できれば、双海へもスムーズに行けるということで、いろんな機会を活用して要望しているのだが、なかなか県に届いていない。確かに市民から強い声も頂いているので、なお一層用地交渉も含めて積極的に取り組んでいきたいと思う。施設も8月にはプレオープン、来年4月にはグランドオープンである。施設ができるのに合わせて、それまでには進捗があるよう、所管部署にもしっかり伝えて取り組んでまいりたいと思う。

(委員)

しっかり拝見させていただく。

(委員)

土地収用法の事業認定さえ取れば、憲法上の私権は制限されて取得できる。別の国道でも土地収用法の事業認定を受けて買収をしたので、やればできるのだが、県もそこまで力が入っていないのではないかな。

(事務局)

最後は言われるような伝家の宝刀で。それは最終的になってくると思う。税制的な部分や、災害の発生により復興が優先となり、随分後回しにはなっているのだが、やはり小学生の通学路でもあるので、優先的にやるべきではないかというのは、もちろんご指摘のとおりである。

(委員)

愛媛県の用地課を長年していたプロ中のプロが、今県の収用委員になってい

る。今度その人に来てもらって話したいと思う。個人的に伊予市にはそういう場所がいっぱいあるとは言っている。

(委員長)

話は尽きない。そんなに高いピアノなのか。

(委員)

結構高いようである。普通なら入札をして、価格競争により定価が下がるのだが、あの製品は外国製であり、その代理店は1社しかないので、随契か何かでやらないとどうしようもない。価格は上がるというのがどうもあるようである。

(委員長)

確かに大学でも30年前に講堂を造ったときにドイツ製のピアノを750万くらいで入れた。1回も弾いたところを見たことがない。

(委員)

小学校の体育館にはみんなグランドピアノを置いているだろう。音楽室にあるのはもちろんであるが。音楽室での使用頻度はそこそこあるのだが、体育館と言えば、入学式や卒業式、あとはお遊戯会くらいである。毎年調律もしている。それがスタインウェイになると調律にしても扱いが全然違ってくると思う。長い目、長いスパンで見て子どもの情操教育になら最高のピアノをと思うのだが、それほど出して買わないといけないピアノなのだろうか。私もピアノは好きだし、音楽も好きである。それでも考えてしまう。

(委員)

この事業の中にある、小学校、中学校の空気調和設備設置事業というのは、クーラーか何かを全部付けるというものか。

(事務局)

お見込みのとおり、エアコンの設置である。

(委員)

それが付くのならまだ良い。ピアノよりも小学校の暑いとか寒いとかいうときに入れてあげないと勉強できないと思う。それが付くのであれば。

(事務局)

付くのはこれからである。

(委員長)

小中学校の空調は補助金が出るのだろう。

(事務局)

ご指摘のとおり、来年度の事業になる。本年度も事業として入っている。

今は施設を造るためには、市民の方は当然、いろいろな人が入って話し合いをしながら進めている。中には非常に興味を持たれる強い力を持つ方も入っていると思う。それが原因ではないと思うのだが、例えばこの庁舎、市民にも意見をいただきながら進めてきたのだが、結果海に見えるテラスを使う者は1人もいない。外に階段みたいになっているところ、あそこも中山にある棚田をイメージして造ったものであり、人が降りられるわけでもない。それどころか植えている芝の管理がままならない。実際にできると思うように活用できていない部分がある。ピアノもそういうことにならなければいいなど所管外でありながら思うところもある。温度管理もしっかりしないといけないし、調律も必要ということで、すごく維持費がかかると聞いている。ただせっかく購入するのだから、少しでもたくさんの人に聞いてもらえるような場を設ける必要があると思う。

(委員)

それしかないだろう。

(委員長)

今どきは入札の方法もいろいろある。とりあえず注意深く監視するしかないのではないか。新しい手法に見えて実はそうではないというものもいっぱいある。話に華が咲いたのだが、事務局から何かあるだろうか。

(室長)

今回の行政評価委員会が、先ほど来委員の皆さまから発言いただいたとおり最後の会となる。本来なら市長が来て委員の皆さまに挨拶すべきであるが、本日は私が代わりに一言申し上げます。皆さまには平成29年7月に第1回目の会に集まりいただいた。本当に熱心に協議いただき、このような結果、成果をもたらしていただいたということに、まず感謝を申し上げたい。

委員から指摘いただいたとおり、現在の伊予市を取り巻く環境は厳しいものがある。委員の皆さまにお力添えいただいたことにより、施策評価の実施も叶った。今度3月議会で承認を頂ければ、来年は補助金の審議会を是非立ち上げたいと考えており、団体の既得権益のようなものにも踏み込んでいきたいという気負いを持っている。

それからお手元に今配布したのは、2月1日付けの日経新聞の記事である。昨年1年で見ると、伊予市では他市へ転出される数よりも転入が上回るという、いわゆる転入超過となっている。四国で言えば、松前町に続き伊予市が114人ということで掲載された。この数については総務省の速報であり、検証はこれからではあるものの、手前味噌ではあるのだが、いわゆる施策の一定の成

果ではないかと思っている。今中予の3市3町で松山圏域の事業を行っており、先日の担当課長会でもこの話題が出た。松前町はエミフル周辺の住宅分譲、そして伊予市も下吾川にかなりの数で住宅分譲が進んでいると。実は明るい話題はそれだけではなく、中身を見てみると、0歳から14歳までは140人の増となっている。いわゆる子どもが増えているということで、明るい展望が開けるのではないかと考えている。検証はこれからであるが、一つひとつの事業がこういう形で結び付いていけるよう、また今日まで皆さま方から意見を賜ったことを肝に銘じ、来年の事務事業評価に向け着実に進んでまいりたいと考えている。皆さまもそれぞれの立場で引き続きお力添えいただきたいと思う。

委員の皆さまの益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ挨拶とする。本当にお世話になりました。

3 閉会

(委員長)

これで任期が終わるということである。ほかに何もないようであれば、以上で本日の議事を終了する。2年間どうもご協力ありがとうございました。